

## 活動方針

先行き不透明という言葉が氾濫している昨今、一地域の経済活動が大きく世界と繋がっていることを実感させられる事象が多発しています。一つには米国サブプライムローン（信用度の低い人向けローン）問題に端を発した世界同時株安、二つには中国食品による健康被害、そしてバイオエネルギー製造にからむ穀物の高騰や石油価格の急騰。これらは全て当地のあらゆる経済活動と消費生活に影響を及ぼしています。

一地域の範囲内で解決できない問題が多いと思われませんが、これらの事象のメカニズムをいち早く認識し、正しく事態を把握することが最も重要です。商工会議所の活動は会員の不安感や不透明感を少しでも緩和し、事実を認識した上で厳しい経済環境を生き抜く一助になる役割を担っているからです。そして、会員の互助互恵の精神が連帯感を高め、孤軍奮闘する企業家が集まり自己責任を前提に強い経済基盤を築くため行動しているのです。

商工会議所は会員相互の信頼の下、情報を交換し共有することから始め、課題を組織の意思として力を合わせて解決することが創立の趣旨であると確信しています。昨年より取り組んでまいりました、事業承継税制もようやく国を動かし法制化に目途が立ちました。産業の維持発展は景気だけでは解決しません。制度面からも支援が必要です。全国の商工会議所が連携して活動した成果です。現在直面していることは道路特定財源の行方です。市場に無用の混乱を招きかねない事態に陥らないよう民意に叶う結論を切に望みます。

また、地球レベルで動く潮流に対して唯一の対抗手段は地域レベルでの活動です。商工会議所は創立 10 周年の節目を迎える年に地域の結束を活動の基本に置き、大きな困難を会員相互の団結力で乗り切る所存です。昨今の世相は『偽』で代表されました、建築構造計算の偽装問題から食品偽装へと社会問題となり、我々企業人にとっては尤も屈辱的なことばです。宝塚商工会議所は『真』を旗印に掲げ、市民に安全安心を実感できる社会の実現の原動力になる責任を負わなければなりません。

会員の皆様には困難と苦しみは分かち合い、成功は全員で喜び合う互助互恵の精神を合言葉に、企業人の力の発露の場を実現すると決意しました。より多くの企業人の参加と、参加した企業人が一致協力して事業を推進することが商工会議所創立の意思であります。これからの 10 年を切り拓くためにもより多くの参加が求められます。会員増強と会員参加型事業の推進を最重要課題として活動を行います。以上をもって平成 20 年度における宝塚商工会議所の活動方針といたします。何卒事情をご賢察いただき、ご理解と絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 重点事業

(策定方針)

### 全員参加型事業の推進 及び 会議所組織の基盤強化

#### 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営

#### 2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 地域活力増進事業の推進

「(仮称)商人塾(宝塚流おもてなし講座)」の開催

「(仮称)宝塚観光ルート(いいとこどり宝塚)」事業の実施

「(仮称)おいしいまち宝塚(食編)」事業の実施

(「マーケティングリサーチシステム構築事業」の実証事業)

(2) 創業・起業支援事業の促進

起業(創業)何でも相談の開催

空き店舗等情報提供事業の実施

(3) 会員ビジネス交流事業の促進

ビジネスマッチング事業の開催

#### 3. 組織の基盤強化

(1) 会員増強運動の展開

(2) 会員福利厚生事業の充実

#### 4. 中心市街地活性化への支援

#### 5. 創立10周年記念事業の企画とイベントの実施

## 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

### (1) 「宝塚産業活性化推進会議」の運営 ~ 経済活性化常任委員会

企業立地・誘致策や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会において研究、各部会で検討議論する。

## 2. 産業活性化策の積極的推進

### (1) 地域活力増進事業の推進

#### 「(仮称) 商人塾 (宝塚流おもてなし講座)」の開催 ~ 中小企業相談所

昨年度に引き続き大型店出店対策の一環として“宝塚まちなか商業”の活性化を目指し、今年度は「宝塚流おもてなし」をテーマに実施する。

#### 「(仮称) 宝塚観光ルート (いいとこどり宝塚)」事業の実施 ~ 観光文化部会

昨年度、県では兵庫県大型観光交流キャンペーン推進協議会が設立され、20年度から21年度にかけてJRグループのデスティネーションキャンペーンに合わせて観光客誘致活動を展開する。このような環境の中、宝塚においては、既存の観光資源を有機的に結び宿泊滞在型観光客を呼び込む等しかけが必要であり、具体的・実践的な事業を実施する。

#### 「(仮称) おいしいまち宝塚 (食編)」事業の実施 ~ 経済活性化常任委員会

平成17・18年度の宝塚ブランド品発掘・創出事業及び19年度のおいしいまち宝塚の食文化調査・研究の継続のもと、市民等においしい店を推薦してもらったり、アンケート調査を実施することにより、情報提供型のパンフレットを作成、宝塚観光ルート事業やデスティネーションキャンペーン等に活用する。この事業は「マーケティングリサーチシステム構築事業」(～会員福利厚生委員会)の実証事業として実施する。

### (2) 創業・起業支援事業の促進

#### 「起業 (創業) 何でも相談日」の開設 ~ 中小企業相談所

従来より男女共同参画センターとの協働により、起業なんでも相談を実施しており、また日常的に窓口相談対応を行っているが、新たに本年度からはその発展型として年4回「起業 (創業) 何でも相談日」を国民生活金融公庫と共催で開設する。

## 空き店舗情報等提供事業の実施

～ 中小企業相談所

空き店舗対策に係る公的な支援制度や空き店舗・工場等の情報を集約し、ホームページやパンフレット等により情報をわかりやすく公開する。

## (3) 会員ビジネス交流事業の促進

～ 経済活性化常任委員会

### ～ ビジネスマッチング事業の開催

平成 17 年度より実施してきた「異業種交流会」「会員ビジネス交流事業」を検証しつつ、平成 20 年度は「会員全体交流会」として、3 カ年間の総括事業を実施する。

## 3. 組織の基盤強化

### (1) 会員増強運動の展開

～ プロジェクトチーム

会員増強月間を設定し、一大キャンペーンを企画、役職員が一丸となり組織強化、基盤強化を図る。

### (2) 会員福利厚生事業の充実

～ 会員福利厚生常任委員会

商工会議所の福利厚生機能を強化し、会員のための福利厚生事業として提供できるメニューを充実させる。

## 4. 中心市街地活性化への支援

～ 経済活性化常任委員会

## 5. 創立 10 周年記念事業の企画とイベントの実施

### ～ 記念事業の検討

実行委員会立ち上げまでに係る記念事業実施の方向性は正副会頭・委員長会議で検討。その方向性に即した実行委員会立ち上げの骨子については総務常任委員会で協議。(6月の常議員会で実行委員会設置について提案予定。)